

2025

南会ドローン中学校

ドローン活用人材育成コース

Nankai Drone Junior-high



福島県

南会ドローン中学校 ドローン活用人材育成コース 基本プログラム シラバス 目次

※ 講座名のリンクをクリック（タップ）すると該当講座のページ（シラバス）に移動します。（スマホ等ではリンクが機能しない場合があります。Acrobat Reader 等のリンク対応アプリを使用してください。）

番号	日時	講座名（クリック or タップでシラバスページへ）	講義担当
1	7/18（金）①13:30	ドローンに関する制度について	国土交通省
2	7/18（金）②13:55	空の産業革命に向けた政府の取組	経済産業省
3	7/18（金）③14:20	福島県のドローンに関する取組について	福島県
4	7/18（金）④15:00	ドローン飛行にかかわる様々な法令ルールとは	株式会社スペースワン
5	7/18（金）⑤15:30	ドローンの選び方 ー用途別に見る代表メーカーとモデル紹介	株式会社スペースワン
6	7/18（金）⑥16:00	水中ドローンが牽引する海の産業革命	株式会社スペースワン
7	7/24（木）①13:30	ドローンが広げる観光の可能性	株式会社NTTデータ経営研究所
8	7/24（木）②14:10	誰もが旅をあきらめない！ ドローンを活用したアクセシブル・ツーリズム	株式会社NTTデータ経営研究所
9	7/24（木）③14:50	自動無人空撮サービス「SKYPIX」 誰でも絶景と思い出を手のひらへ	fly 株式会社
10	7/29（火）①13:30	ドローンショーで感動をつくる！空の仕事の最前線	株式会社 White Crow
11	7/29（火）②14:10	鳥の目線、FPVドローンとドローンレースについて	白石麻衣
12	7/31（木）①13:30	船引高校ドローン科学探究部について	慶應義塾大学
13	7/31（木）②14:10	ドローンプログラミングでのSTEM教育について	合同会社 RC ラボ
14	7/31（木）③14:50	飛ばすだけじゃない！ドローンがつくる仲間とチャンス	株式会社 Kanatta
15	9/18（木）①13:30	災害時のドローン活用方法 (道路啓開事前確認・インフラ点検)	株式会社ミラテックドローン
16	9/18（金）②14:10	ドローンを活用した災害対応及び遭難者の捜索について	株式会社東北ドローン
17	9/18（金）③14:50	見えないリスクを可視化する。 超狭小空間点検ドローン「IBIS2」活用事例	株式会社 Liberaware
18	10/2（木）①13:30	中山間地域におけるドローン配送及び 大型産業用ドローンのレンタル展開について	株式会社 e ロボティクス
19	10/2（木）②14:10	ドローン夜間飛行でできること	Amatobu
20	各講義日の 前後 30 分間	屋内ドローン操縦体験 ～ドローンに触れ、飛ばしてみよう～	福島県

※ 基本プログラムのほか、福島ロボットテストフィールド等による課外講座を実施する予定です。（決定次第、受講登録者の皆様にメールでご案内いたします。）

講座番号 1 令和7年7月18日（金）①13:30-13:50

ドローンに関する制度について

講師

国土交通省 航空局安全部無人航空機安全課
専門官 梶原純樹（かじはらじゅんき）

講師プロフィール

2018 年国土交通省入省、航空局交通管制部交通管制企画課、航空局安全部安全企画課航空保安対策室、外務省国際協力局及び物流・自動車局車両基準・国際課を経て、2025 年4月より現職。

講義の概要

本講座では、ドローンに関する制度と航空局の取組について周知すると共に、飛行申請等の手続きについても説明します。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 2 令和 7 年 7 月 1 8 日（金）②13:55-14:15 会場でオンライン中継
空の産業革命に向けた政府の取組

講師

経済産業省 製造産業局航空機武器産業課次世代空モビリティ政策室
室長補佐 別木 隼（べつきあきら）

講師プロフィール

総合商社、民間航空会社を経て、2022 年経済産業省中途入省。中小企業政策、
2025 年大阪・関西万博に携わったのち、2025 年 5 月より現職。

講義の概要

経済産業省では、点検、物流など多岐に渡る分野で活用が進むドローンの更なる利活用促進や 2025 年大阪・関西万博での空飛ぶクルマの運航実現など、次世代空モビリティの社会実装に向けて検討を進めています。本講座では取組の現状と課題、今後の取組の方向性等について紹介します。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 3 令和 7 年 7 月 1 8 日（金）③14:20-14:50

福島県のドローンに関する取組について

講師

福島県 次世代産業課 副主査 大須賀智康（おおすかともやす）

講師プロフィール

平成 2 5 年福島県庁入庁。令和 4 年度から 2 年間、国土交通省航空局無人航空機安全課に勤務。令和 6 年度から福島県の福島ロボットテストフィールドの管理運営やドローンの活用促進等に取り組む。

講義の概要

本講座ではドローンに関する福島県のこれまでの取組とこれからの展望を紹介します。

- 1 これまでの取組について
 - （1）新技術実装連携“絆”特区について
 - （2）展示会、支援制度について
 - （3）ユースケース実証事業について
- 2 今後の展望について

[▲目次に戻る](#)

講座番号 4 令和 7 年 7 月 1 8 日（金）④15:00-15:30

ドローン飛行にかかわる様々な法令ルールとは

講師

株式会社スペースワン ドローン事業部 新井宣教（あらいのりみち）

講師プロフィール

2017 年株式会社スペースワン入社。福島ドローンスクール専任講師として、民間資格 500 名（空中/水中）、国家資格 200 名以上の操縦士育成に携わる。公官庁や企業・学校向けのドローン講習会・体験会も多数開催。

講義の概要

本講座では、ドローンの運用に絡む法令ルールの概要について理解を深めるため、次の内容を学びます。

- 1 法整備のきっかけとなった事件
- 2 無人航空機に関係する主な国内法
- 3 航空法
- 4 その他の法令ルール

[▲目次に戻る](#)

講座番号 5 令和 7 年 7 月 1 8 日（金）⑤15:30-16:00

ドローンの選び方ー用途別に見る代表メーカーとモデル紹介

講師

株式会社スペースワン ドローン事業部 新井宣教（あらいのりみち）

講師プロフィール

2017 年株式会社スペースワン入社。福島ドローンスクール専任講師として、民間資格 500 名（空中/水中）、国家資格 200 名以上の操縦士育成に携わる。公官庁や企業・学校向けのドローン講習会・体験会も多数開催。

講義の概要

本講座では、用途別ドローンの選定方法について理解を深めるため、次の内容を学びます。

- 1 ドローンの活用分野
- 2 コンシューマー機と産業機
- 3 代表的なメーカーとモデルの特徴・価格
- 4 ドローン選びに大切なこと

[▲目次に戻る](#)

講座番号 6 令和7年7月18日（金）⑥16:00-16:30

水中ドローンが牽引する海の産業革命

講師

株式会社スペースワン 代表取締役 小林康宏（こばやし みちひろ）

講師プロフィール

福島ドローンスクール代表

一般社団法人 日本水中ドローン協会 代表理事

2016 年からドローン事業を開始。空中・水中ともに黎明期から業界の発展に寄与するとともに、常に国内外の市場動向をウォッチし、海外の展示会にも積極的に参加。最新技術やビジネスモデルを取り入れながら事業を行っている。

講義の概要

本講座では、水中ドローンの基礎知識と有用性について理解を深めるため、次の内容を学びます。

- 1 水中ドローンとは？
- 2 スペースワンの取組み
- 3 代表メーカー・機種紹介
- 4 水中ドローンの現在地と活用事例

[▲目次に戻る](#)

講座番号 7 令和 7 年 7 月 2 4 日（木）①13:30-14:00

ドローンが広げる観光の可能性

講師

株式会社 NTT データ経営研究所 ソーシャル・デジタル戦略ユニット
マネージャー 岡本峻（おかもとしゅん）

講師プロフィール

株式会社東芝、株式会社デンソーで研究開発職として従事した後、現職。官公庁および民間企業に対し、デジタル領域における事業戦略の策定から推進支援まで一貫したサービスを提供。

専門領域は、モビリティ分野（自動車、物流、ドローン等）や公共・準公共分野におけるデジタル戦略、新規事業検討・推進、DX推進支援。また、官公庁における調査研究やサービス企画、実証実験の豊富な実績を有する。

2024 年度には東京都のドローンを活用したアクセシブル・ツーリズム推進事業事務局を担当し、観光分野でのドローン活用に関するオンラインセミナーの企画・運営や事業推進を支援。

日経 BP 社「日経ガバメントテクノロジー」にて、行政キーワード解説記事の執筆を担当。

講義の概要

本講座では、観光分野におけるドローン活用の最新動向とその実践的なメリットについて、具体的な事例を交えて紹介します。空撮による魅力的な映像発信や没入感ある旅行体験の提供、遠隔地・未踏地へのアクセスといった“ドローンならではの”の価値に加え、AR・VR との連携などの観光 DX の可能性にも言及します。さらに、企画・運営にあたって押さえるべきルールや安全措置、旅行商品造成に向けた体制づくりのポイントなどを解説します。

- 1 なぜ観光にドローンなのか
- 2 観光分野におけるドローン活用のメリット
- 3 観光分野におけるドローン活用事例
- 4 観光分野でドローンを活用する際の注意点

[▲目次に戻る](#)

講座番号 8 令和 7 年 7 月 2 4 日（木）②14:10-14:40

誰もが旅をあきらめない！ドローンを活用したアクセシブル・ツーリズム

講師

株式会社 NTT データ経営研究所 ソーシャル・デジタル戦略ユニット
マネージャー 岡本峻（おかもとしゅん）

講師プロフィール

株式会社東芝、株式会社デンソーで研究開発職として従事した後、現職。官公庁および民間企業に対し、デジタル領域における事業戦略の策定から推進支援まで一貫したサービスを提供。

専門領域は、モビリティ分野（自動車、物流、ドローン等）や公共・準公共分野におけるデジタル戦略、新規事業検討・推進、DX推進支援。また、官公庁における調査研究やサービス企画、実証実験の豊富な実績を有する。

2024 年度には東京都のドローンを活用したアクセシブル・ツーリズム推進事業事務局を担当し、観光分野でのドローン活用に関するオンラインセミナーの企画・運営や事業推進を支援。

日経 BP 社「日経ガバメントテクノロジー」にて、行政キーワード解説記事の執筆を担当。

講義の概要

高齢者や障害のある方など、移動に制約のある人々にも旅の楽しみを届ける「アクセシブル・ツーリズム」。本講座では、こうした旅行体験を支える新たな手段として注目される“ドローン”の活用可能性について、東京都が取り組みを進めるアクセシブル・ツーリズム推進事業の事例を交えて紹介します。

- 1 アクセシブル・ツーリズムとは
- 2 ドローンを活用したアクセシブル・ツーリズムの意義
- 3 ツアー造成のポイント
- 4 東京都のアクセシブル・ツーリズム推進事業におけるツアー事例のご紹介
- 5 今後の拡大に向けて

[▲目次に戻る](#)

講座番号 9 令和 7 年 7 月 2 4 日（木）③14:50-15:20

自動無人空撮サービス「SKYPIX」誰でも絶景と思い出を手のひらへ

講師

fly 株式会社 代表取締役 CEO 船津宏樹（ふなつひろき）

講師プロフィール

株式会社ブイキューブに新卒入社後、大阪営業所長を経て2015年ブイキューブロボティクス（現：センシンロボティクス）取締役就任。2020年より独立し、fly株式会社を設立。有名アーティストのドローン撮影やイベント空撮を担当。教育分野ではドローンを中心としたSTEAM教育で2000人以上に講義。200社を超えるドローン事業のコンサルティングにも携わる。

講義の概要

「SKYPIX」は、株式会社 JTB、fly 株式会社、日本航空株式会社が、観光地の魅力を創出にするため、令和 7 年 8 月 1 日から開始を予定するものであり、ドローンによる自動撮影と AI による編集で、通常では見ることはできない空からの視点で、誰でも気軽に動画撮影や視聴を楽しむことができる日本初のサービスです。

ドローンによる自動無人空撮を用いることで、日本全国、四季折々の豊かな観光地の魅力を発信が可能となります。また、観光地における事業者負担も少なく、世界へ向けて情報発信ができると考えています。

本講義では、ドローン基地を活用したサービス開発の経緯からコンシューマーが利用できるドローンサービスの提供方法について理解を深めます。

- 1 SKYPIX サービス開発の経緯
- 2 自動離着陸基地とドローンを活用した開発について
- 3 運用面での安全性や法規制対策
- 4 今後のサービス展開について

[▲目次に戻る](#)

講座番号 10 令和7年7月29日（火）①13:30-14:00

ドローンショーで感動をつくる！空の仕事の最前線

講師

株式会社 White Crow 代表取締役 堀内亜弥（ほりうちあや）
取締役 本山恵菜（もとやまえな）

講師プロフィール

堀内亜弥（ほりうちあや）

大阪府出身。ドローン業界に9年間従事し、インフラ点検や農業支援などを経て、2024年に「株式会社 White Crow」を設立。

現在は全国でドローンショーを企画・実施し、地域課題をエンタメで解決する新しい社会提案を行っている。テレビ・新聞等メディアにも多数出演。

本山恵菜（もとやまえな）

株式会社 White Crow の共同創業者。

営業・企画運営の立場から、各地のドローンショーの現場ディレクションや、地域・企業との連携構築を担当。

ドローンエンタメの可能性を切り口に、未来の空の活用方法を提案している。

講義の概要

本講座では、「ドローンショーってどうやって作るの？」という素朴な疑問に答えながら、空に絵や文字を描く最新のエンタメ技術「ドローンショー」の仕組みを学びます。

ドローンがどのように動き、どんな技術や人が関わっているのか—その舞台裏をわかりやすく解説するとともに、地方のイベントや観光地で実際に使われている事例を紹介し、エンタメ×地域の未来について考えるきっかけとします。

- 1 ドローンショーとは？～空のエンタメができるまで～
- 2 光と動きの演出のひみつ（動きの設計やソフトウェアの話）
- 3 実際のイベント現場での裏側とチームの役割
- 4 ドローンショーの仕事ってどんなもの？～将来の職業としての可能性～

受講者の皆様がドローン業界や地域イベントの企画に携わる際のヒントとなるよう、現場で培ったリアルな知見をお届けします。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 11 令和7年7月29日（火）②14:10-14:40

鳥の目線、FPVドローンとドローンレースについて

講師

ドローンレース日本代表監督

元日本代表レーサー 白石麻衣（しらいしまい）

講師プロフィール

2年連続ドローン世界大会日本代表チームに参戦した女性パイロット。

子育ての傍らドローンレースに参加するだけでなく、自らレースの主催、イベント企画も行う。メディア等でも多岐にわたり活動中。

マイクロドローン・FPVレーシングドローンを使った空撮映像の撮影も積極的に行い、多くの人にドローンの魅力を伝えるべくSNSなどで積極的に発信している。

ドローンレースやイベントで地方を盛り上げる企画も積極的に行っており、2021年からはJMA TINY DRONE RACEの監修を務め、岡山奉還町商店でのレースを皮切りに全国10箇所で賞金総額100万円のレースを開催。東京、富山、名古屋など各地でドローンにまつわるスペースやイベントのプロデュースも行っている。

ドローンレース界では若い選手の支援や育成にも力をいれており、2022年には自らの世界選手権などの参戦経験を活かし、日本トップレーサーの橋本ゆうき（15歳）選手を連れ欧州へ海外ドローンレースに参戦。

2023年にドローンレース日本代表監督に就任。橋本選手は後に世界選手権で優勝を果たし世界チャンピオンに。日本代表チームも国対抗3位の成績を残し、それまで日本ドローンレーシング代表にはなかった快挙をチームで成し遂げる。

このほか、有名アーティストの作品や映画（海外撮影）でのドローンカメラマンなどとしても活動している。

講義の概要

- 1 FPVドローンとは？
- 2 ドローンレースについて
- 3 FPVドローンと産業
- 4 性別や年齢を超えるドローンの魅力

[▲目次に戻る](#)

講座番号 1 2 令和 7 年 7 月 3 1 日（木）①13:30-14:00 会場でオンライン中継
船引高校ドローン科学探究部について

講師

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 古谷知之（ふるたにともゆき）

講師プロフィール

東京大学大学院工学系研究科で博士課程を修了し、2015 年に慶應義塾大学で総合政策学部教授に就く。

講義の概要

- ・ 2024 年度の活動紹介
- ・ 2025 年度の活動予定
 - 1 AI 搭載ドローンの活用に必要な STEM 教育
 - 2 AI 搭載ドローンを使った自律航行や画像認識・解析、センサー情報解析
 - 3 空中と陸上、水上、水中のドローンを使ったドローン人材育成
 - 4 プログラミング教育を連携した課題発見型人材育成

に力を入れて活動していく予定です。

さらに、慶應義塾大学の学生（大学院生・学部学生）を田村市に派遣した形での教育交流プログラムを再開します。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 13 令和7年7月31日(木) ②14:10-14:40

ドローンプログラミングでの STEM 教育について

講師

合同会社RCラボ 代表社員 熊谷昭一（くまがいしょういち）

講師プロフィール

2017 年 福島ロボットテストフィールドプレ OPEN 祭ドローン部門運営

2018 年 国際ドローンレース協会公認ワールドドローンレース IN 猪苗代運営

2019 年 FAI ドローンレース世界選手権（幕張メッセ）運営

- ・学校法人松韻学園福島高等学校、ドローン非常勤講師
- ・国際情報工科自動車大学校、ドローンスペシャリスト科非常勤講師
- ・福島市各地区の学習センターにてドローン教室等の講師

講義の概要

ドローンプログラミングは、これまでプログラミング教育を受けたことがない人や年少者にも最適な STEM 教育 (Science Technology Engineering and Mathematics) の一つとされています。

様々なプログラミング教育がある中、3次元に動くドローンの制御を通して楽しくプログラミングを勉強することが出来ます。

この講座では、簡単なプログラムでドローンをコントロールするデモを行うことにより、学校教育や地域イベント等でドローンプログラミング教室を実施するための基本的事項を学びます。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 1 4 令和 7 年 7 月 3 1 日（木）③14:50-15:20

飛ばすだけじゃない！ドローンがつくる仲間とチャンス

講師

株式会社 Kanatta 代表取締役 井口恵（いぐちめぐみ）

講師プロフィール

2010 年横浜国立大学経営学部を卒業。同年に KPMG あずさ監査法人に入所。3 年間の監査業務を経て 2013 年に LVMH モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン・ジャパン株式会社にアナリストとして入社。その後 2016 年に独立し、株式会社 Kanatta を創業。男性が 8-9 割のドローン、宇宙業界で女性限定コミュニティであるドローンジョプラス、コスモ女子を運営している。2024 年にはコスモ女子が女性コミュニティとして日本で初めて人工衛星の打ち上げに成功し、同年に Forbes JAPAN WOMEN AWARD の個人部門にてパイオニア賞を受賞。

講義の概要

本講座では、ドローン業界におけるコミュニティ形成、女性活躍について理解を深めるため、次の内容について学びます。

- 1 ドローンジョプラスについて
- 2 具体的な活動内容をもとに、ドローン業界の可能性について
- 3 パイロット以外で活躍している事例

[▲目次に戻る](#)

講座番号 15 令和7年9月18日（木）①13:30-14:00

災害時のドローン活用方法（道路啓開事前確認・インフラ点検）

講師

株式会社ミラテクドローン 育成事業部 東日本 SE グループ
主任講師 加藤健太（かとうけんた）

講師プロフィール

- 2015年 株式会社ミライト・テクノロジーズ入社
通信インフラ構築工事、施工管理業務に従事
- 2018年 株式会社ミライト・テクノロジーズ ドローン事業部に異動
J U I D A無人航空機操縦士技能証明取得
J U I D A認定スクール講師証取得
- 2020年 株式会社ミラテクドローン設立ともに出向
- 2023年 無人航空機登録講習機関を開講し、講師として対応
- 2024年 一等無人航空機操縦士技能証明を取得

この7年間でドローンフライトの各種案件における主任操縦士として対応し、延べ約700時間のフライト実績あり。また、災害発生後のインフラ設備確認フライト、防災訓練時のフライトにおいても多数実績あり。

講義の概要

本講座では、災害時におけるドローンの活用方法、メリット、課題について詳しく解説します。さらに、弊社がこれまでに手掛けてきた災害時のドローン活用事例を通して、実践的な学びを深めていただきます。

- 1 災害時におけるドローンの活用方法について
- 2 事例から学ぶドローンの活用
 - ・能登半島地震における無線基地局の被災状況の確認
 - ・熱海市土砂災害におけるドローンによる状況図の作成支援
 - ・防災訓練におけるドローンの活用事例

[▲目次に戻る](#)

講座番号 16 令和7年9月18日（木）②14:10-14:40

ドローンを活用した災害対応及び遭難者の捜索について

講師

株式会社東北ドローン 代表取締役 桐生俊輔（きりうしゅんすけ）

講師プロフィール

ドローン関連事業のみで経営をしている企業で2015年から個人事業主を経て2016年に創業。

現在はドローンを社会実装させ、ドローンをあたりまえにする社会を創造するために奔走している。

講義の概要

本講座では、山間部で遭難者を発見するためのドローン飛行について理解を深めるため、次の内容について学びます。

- 1 東北大学との共同研究にて、山間地における遭難者救助をイメージしたコンテンツ【J I C 2023】で実施した内容について
- 2 山間地での飛行についての注意点
- 3 「高さ」についての説明
- 4 今後ドローンを災害時や山間地での救助についての手法提案

準備物

可能な方は、パソコン（OSはWindows又はMac）を持参してください。

なお、パソコンには、Google アースプロ（以下より無料でダウンロード可能）を事前にインストールしてください。

▼ダウンロードサイト

<https://www.google.com/earth/about/versions/>

[▲目次に戻る](#)

講座番号 17 令和7年9月18日（木）③14:50-15:20

見えないリスクを可視化する。超狭小空間点検ドローン「IBIS2」活用事例

講師

株式会社 Liberaware スマート保安事業部

マーケティング PR マネージャー 長谷川大季（はせがわだいき）

講師プロフィール

大手 PR 代理店にて、外資系飲料メーカー・SaaS ベンチャー企業など業界問わず数多くの企業のコミュニケーション戦略の立案から施策実行までを担当。

Liberaware 入社後は、マーケティング・PR 部門の責任者として、リード獲得～ナーチャリングの設計、企業プレゼンスの向上・メディア露出獲得を目的とした PR 戦略の立案から実行までを担当している。

講義の概要

本講座では、屋内用点検ドローン「IBIS」及び付随する設備維持管理ソリューションの理解を深めます。

- 1 日本の設備老朽化状況について
- 2 屋内点検ドローン「IBIS2」について
- 3 維持管理 DX ソリューションについて
- 4 防災・災害対策について

[▲目次に戻る](#)

講座番号 18 令和7年10月2日（木）①13:30-14:00

中山間地域におけるドローン配送及び大型産業用ドローンのレンタル展開について

講師

株式会社 e ロボティクス 代表取締役 板羽昌之（いたはまさゆき）
事業本部長 清本和則（せいもとかずのり）

講師プロフィール

代表取締役 板羽昌之

2020 年 6 月 (株) 日本環境調査研究所（東京都新宿区）常務取締役を退任

※原子力・医療分野における放射線防護、測定事業に従事

2020 年 7 月 (株) e ロボティクス（福島県南相馬市）代表取締役として就任

※以降 A I ・ロボティクス技術用いた陸・海・空の社会課題解決型フィールド
ロボティクスサービスに従事

事業本部長 清本和則

2022 年 5 月 (株) 辰栄製作所製造部係長退社

2022 年 6 月 (株) e ロボティクス広島（広島県庄原市）部長として入社

2024 年 7 月 (株) e ロボティクス（福島県南相馬市）部長として転籍

※以降ドローンによる農薬散布、医薬品等配送、上空の電波品質や気象調査
に従事

2025 年 1 月 同社事業本部長に昇格

2025 年 5 月に二等無人航空機操縦士（国家資格）取得

講義の概要

本講座では、中山間地域や離島へのドローン物流サービスについて理解を深めるため、次の内容について学びます。

- 1 ドローンの飛行航路検討手法（電波品質調査、気象観測調査）について
- 2 飛行時の安全確保について

また、大型産業用ドローンのレンタル事業サービス展開（国内初）について紹介します。

[▲目次に戻る](#)

講座番号 19 令和 7 年 10 月 2 日（木）②14:10-14:40

ドローン夜間飛行でできること

講師

Amatobu オペレーター 星拓朗（ほしたくろう）

講師プロフィール

2016 年 ドローンを始める。

2018 年 ドローン搭載型レーザー測量機（国産）でレーザー測量を始める。

2021 年 Amatobu が創業しパイロットとして写真測量を開始。

2022 年 Amatobu が南会津町との災害時及び捜索等における協定書を締結。

2025 年 AUTHENTIC JAPAN と「ドローンによる山岳遭難捜索業務委託契約」
を締結

現在に至る。

（取得資格）

- 1 等無人航空機操縦士（目視外、夜間限定解除）※国家資格
- DJI SPECIALIST ※民間資格 ○ 無人航空機安全運航管理士
- 航空特殊無線技士 ○ 第三級陸上特殊無線技士 ○ 赤外線建物診断技能師
- ドローン防災スペシャリスト

（飛行時間）

- 総飛行時間：約 200 時間（内：目視外 75 時間、夜間 9 時間）

講義の概要

中国の DJI 社製ドローン Matrice300RTK に同社の ZenmuseH20T カメラを搭載し、赤外線カメラを使用した夜間飛行について紹介します。

本講座では、ドローンの夜間飛行について理解を深めるため、次の内容について学びます。

- 1 夜間飛行における法律について
- 2 注意点について
- 3 夜間飛行でどのようなことができるか

[▲目次に戻る](#)

講座番号 20 各講座日の前後 30 分間

屋内ドローン操縦体験 ～ドローンに触れ、飛ばしてみよう～

講師

福島県南会津地方振興局県民環境部 副部長兼県民環境課長
渡部洋一郎（わたなべよういちろう） ※交代する場合があります。

講師プロフィール

平成 16 年福島県庁入庁。原子力安全対策、地域づくり、国土交通省勤務、商業振興、人事、秘書、職員研修、行財政改革業務を経験し、令和 6 年度から現職。

「ドローンの活用など、高度な研究機関や大企業が進めるものであり、自分には関係ない。」と他人事であったが、南会ドローン中学校の企画立案のために県内外でドローン関連事業に携わる方々からお話を伺う中で、「私達生活者がドローン活用について学び、理解しなければ地域におけるドローン活用は進まない。」と感じるようになり、現在、「無人航空機の飛行の安全に関する教則（国土交通省）」やインターネット上の動画等により少しずつドローンについて学んでいる。

この南会ドローン中学校のために、全国のドローン関係者の皆様から多大なご協力をいただいております、南会津地方のドローン活用を進めながら、全国に向けて情報を発信することで恩返しをしたいと考えています。

講義の概要

本講座は、各講義実施日の前後 30 分間、屋内会場（旧檜沢中学校体育館）の空きスペースにおいて、気兼ねなくドローンの操縦を体験していただくものであり、操作方法以外の説明は行いません。（質問には可能な範囲でお答えします。）

具体的には、重量 100 g 未満のトイドローンを用いて、離陸、飛行、着陸までの流れを自由に体験していただきます。左右の指による操作に困惑するかもしれませんが、衝突や落下を過度に恐れず、まずは「遊び感覚」でドローンに触れ、操縦してみてください。

なお、少子化や新型感染症等により私達大人が真剣に考えるべき子ども達の「遊び環境」を見つめ直すきっかけとなれば幸いです。

（使用予定機体）

- | | | |
|--------------------|----------------------|------------|
| • Holy Stone HS210 | （21.8g、80×80×30mm） | 価格帯：1 万円以内 |
| • Ryze Tech Tello | （約 80g、98×92.5×41mm） | 価格帯：2 万円以内 |

[▲目次に戻る](#)